

かみくげ 恐竜の里新聞

平成 24 年 1 月 25 日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第 41 号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

新しい年を迎えて

自治協議会会長 柳川 瀬義輝

ついこの間、正月を迎えたと思ったら、はや1月も終わろうとしています。

24年度はまちづくり特別事業と丹波竜の里整備事業の2大プロジェクトがスタートします。まちづくり特別事業は向こう5年間で1000万円の交付金が丹波市から上久下地域に交付されます。この交付金を地域の活性化のため、どのような事業を実施するか、まちづくり計画策定委員会(17名の委員で構成)において現在作成中です。

また、丹波竜の里整備事業では24年から5ヶ年計画で丹波市が実施計画を作成中です。元氣村かみくげを中心に遊歩道の整備、広田のつり橋の改修、化石参状レプリカを現場付近に設置、展望広場の設置など幅広い事業がスタートします。この2つの事業をうまくかみ合わせながら地域の活性化のため進めていきたいと考えています。地域みなさんのご協力を是非お願いします。

上久下地区の皆さんへ

丹波市長 辻 重五郎

新年あけましておめでとーございま



す。
かみくげ恐竜の里新聞も「ハ」号の発行となり、当地域の情報源として大切なものとなりました。また、上久下恐竜の里づくり協議会の皆さまの平素のご活躍に対し、知事賞を受賞されましたこと心からお祝い申し上げます。

まちづくりは「参画と協働」の精神で、地域あげて組織づくり、場づくり、人づくりをすることだと思いますが、大胆な発想で繊細な取組こそが、すばらしい上久下地域づくりにつながっているのだと思います。

地域資源、恐竜の里としてますます発展されますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新春賀詞交歓会開催される 混声合唱団誕生か!?



上久下自治協議会は1月8日、地域づくりセンターに辻丹波市長、山南町選出の4市議、自治会役員、団体代表ら40数名が参加して恒例の新春賀詞交歓会を開きました。

お琴同好会の琴演奏、祥葉会による祝い舞、コーラスグループさくらんぼの合唱に続き、辻市長の新春講演に参加者は熱心に耳を傾けていました。

会場5卓に席を並べた参加者は楽しく歓談しながら新年の夢を語りあっていました。
宴席半ばには舞台のコーラスさくらんぼのメンバーに加え、男性有志数人が一緒に懐かしの歌を大きな声で合唱し、「かみくげ混声合唱団」の初舞台発表会を思わせる盛り上がりを見せていました。「今後、是非男性にも参加してもらって本当のかみくげ混声合唱団を結成したい」とコーラスグループでは男性メンバーの参加を呼びかけています。



2月の予定

- ◆ 2月10日(金) 里づくり協議会 例会 午後7時30分
- ◆ 2月15日(水) まちづくり策定委員会 午後7時30分
- ◆ 2月21日(火) 老社会 健康講座
- ◆ 2月24日(金) 自治会会長 午後6時

まちづくり計画策定間近！

丹波市の元気なまちづくり特別事業の計画策定がまもなく出来上がります。まちづくり計画策定委員会（委員長・中西正一・太田自治会長）では上久下地域のまちづくりについて昨年の8月から数回にわたる委員会を開催し、上久下地域の現状（地域の弱みや強み）を出し合い、地域の課題を明確にしてまちづくり計画を策定しています。

恐竜化石を中心とした地域資源（人・自然・文化・風土など）を活かした取り組みにより地域の「良さ、魅力」を内外に発信しながらよりよい地域を作るための計画です。「こんなことをしたら・・・」「あんなことをしたら・・・」というご意見がありました。是非地域づくりセンターまでご提言下さい。地域の皆さんと一緒に計画策定を進めていきたいと思っています。

（まちづくり計画策定委員）

元気村から

元気村かみくげが企業法人としてスタートして8か月が経過しました。79名の組合員からの支援と各部門（販売・体験・管理など）の担当者らの努力によって順調に活動を続けています。恐竜化石発掘体験は恐竜の里「かみくげ」ならではの特有の体験コースとして広く認知されるようになり、阪神間の小学校からのこともたちも多く受け入れるようになりました。また、丹波市25校区小

学校の6年生のこともたち（約800人）も昨年度から授業の一環として発掘体験を学習プログラムの中に入れて、化石発掘や地層、断層などの理科学習を実施しました。その結果、一億年まえの多くの貴重な化石（恐竜やカエル、トカゲなどの小動物）を発見しました。今後も毎年6年生が授業でかみくげを訪れることになっています。8ヶ月間に化石発掘を体験した子どもたちの数は4000人になりました。子どもの少なくなった地域に多方面からの子どもたちの元気な声が聞こえることは地域の活性化にもつながっていきます。

販売部門では名物として売り出している「恐竜焼き」に加え軽食販売のやきそば、おにぎりなどが売り上げを伸ばしてきています。8ヶ月間の恐竜焼きと焼きそばの売り上げは6000個を超えました。今後もイベントを盛り込みながら集客を積極的に図っていきます。地域の皆さんのご利用、ご活用もよろしくお願いいたします。

（元気村 村長）

自治会だより

松茸山復活作戦はじまる

篠場自治会

篠場自治会では、40～50年前にはたくさん出たという松茸山を、もう一度よみがえらせようと、若い有志によって「松茸山復活作戦」がスタートしました。

松茸山も手入れを怠ると落葉が積もって林床が富栄養状態になり、雑菌が増

えて松茸菌が衰退するのだそうです。有志の方々は数年後の松茸の収穫を夢見て、落ち葉かきに汗を流しています。



新自治会員紹介

梅田 秀男さん

絵里さんご夫妻（畑内）



梅田秀男さん（62才）、絵里さん（51才）ご夫妻は昨年10月に加古川市から畑内に移り住まわれました。ご夫妻には中学2年の男子と小学5年の女子の2人の子供さんがおられます。秀男さんは神戸市役所を定年を待たずに退職され加古川市で漢方の薬局「あうん堂」を開

いている薬剤師さんです。畑内に新築した自宅に奥さんと子供さんを残し、単身で仕事をされ週末に畑内の自宅に戻ってくる生活をされています。

アルプスにもよく登り、山や川の自然をこよなく愛する秀男さんは、健康的に人生を送れる場所を求めて八千代町や黒田庄町らで物件を探していましたが、知人の桜井實さん（畑内自治会員で平成22年8月の当新聞第25号で紹介）に薦められた今の物件（土地）が山並みのよく見える場所で、鉄道もすぐ前を走っている便利などところでもあって気に入ったと言われています。畑では春になればいろいろな野菜など栽培したいし、奥さんは庭にたくさんのお花を植えたいと張り切っておられます。2人の子ともさんのうち、長男は田舎より町の生活がよいようだが、長女は田舎が気に入っているようだ」と話されています。将来は加古川の店をこちら（地元）で開きたいと将来の構想も話しておられました。

秀男さんはアイデアマンで発想も豊か、しかも幅広い人脈も持たれており、上久下のこれからのまちづくりの話になると熱っぽく話されるのが印象的でした。

毎年恒例のイベント行事として上久下に定着させ、外部からの集客と経済効果を期待して音楽やまつり、踊りなど（例えば沖繩の民族音楽やおどり、太鼓演奏ら）、この自然豊かな山間の集落のイベントとして面白いのではと提案を受けました。

恐竜の里づくり協議会と一緒に頑張って実現を目指したいものです。